

2025年度 清水学院高等専修学校  
自己点検及び学校関係者評価委員会 報告書

評価：適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

重点目標

- ① 健全な青少年を育成する。
- ② 一人ひとりを大切にする教育体制を構築する。
- ③ 入学を志願する生徒数を増加させる。

1. 教育理念・目標

評価項目	自己評価	改善のための方策	関係者評価	学校関係者評価委員の意見
教育理念並びに教育目標が明確に示されているか	4		4	・出欠席に関する教育の方向性について社会の動向の変化を感じる。  <b>【進路先関係者より】</b> 専門学校でも以前と比較して欠席の数は増えている。
教育目標は卒業時の到達が読みとれるものになっているか	4		4	
教育理念並びに教育目標は定期的に見直されているか	4		4	
教育理念並びに教育目標が教職員・生徒に浸透しているか	3	新規教員や講師の採用機会が多い中で、教育理念等がきちんと浸透する困難さを感じることもあった。継続的に教育理念や教育目標を議題とした打ち合わせや話し合いの実施が必要。	3	

## 2. 教育活動

評価項目	自己評価	改善のための方策	関係者評価	学校関係者評価委員の意見
カリキュラムは教育目標が反映されているか	3		3	<p>・資格取得に向けた勉強会について、授業内で学習しない分野もあるため、環境や在校生の関心などを鑑みて優先順位を決めて実施する必要がある。全ての分野を同じ熱量でおこなうことは、人員や環境としても難しいのがわかる。</p> <p>【進路先関係者より】 卒業生は他校と比較してもパソコンスキルの高さがある。比較的スマホやタブレット慣れをしている若者が多い中で、パソコンスキルがきちんとあることが専門学校で良いスタートを切る要因にもなっている。</p>
定期的なカリキュラムの見直しがなされているか	4		4	
テキストや教材は適切なものを選定しているか	3	数学教科書の難易度が生徒の実状にあっていない状況にあった。2026年度より難易度がより易しい教科書を導入する。	3	
授業の点検・評価が適切に実施されているか	2	準備実行に追われる中で、点検評価に時間をかけることができなかつたことが実状。点検評価を効率的に行う手順や方法を事前に定め、繁忙時でも対応できる準備が肝要。	2	
資格試験の合格率は	3		3	
資格試験不合格者の対策は	3	上級受験になると難易度があがることで、同級受験生徒内でも学習意欲に差がでてくる様子がみられる。合格に向けて中期的な目標を定めるなど、計画的な対応で技術の向上と継続的な意欲を目指したい。	3	
評価は適切な方法で行われているか	2	多面的な評価を目指す中で、評価方法が複雑化しすぎている科目が存在する。評価基準など要所の整理をすることで、適切な評価方法を再度検討する。	2	
目標に到達しない生徒に対し適切なフォローがなされているか	3		3	
進級、卒業の判定審査は適切に実施されているか	4		4	

### 3. 生徒受入

評価項目	自己評価	改善のための方策	関係者評価	学校関係者評価委員の意見
生徒募集のための資料の表現・内容並びに募集活動の方法・時期は適切か	3	web 上での募集資料について、より高い頻度で更新作業をしていくことが肝要。より重要視して準備や更新をしていく必要がある。	3	<p>・生徒募集については、早期化と個別化への対応が急務。 そのうえで効果的なのは HP 等デジタル媒体の充実。</p>
入学案内には志願者が必要とする情報が掲載されているか	4		4	
募集要項の内容は適切か	4		4	
学校見学会の時期、内容は適切か	3	秋から冬にかけての見学者数が減り、夏の見学者が増加。とりあえず情報収集という数も多い印象。夏に見学し複数校の比較をする家庭に対し、見学後にも新しい情報を公開するなどしたフォローアップが肝要。	3	
入学者選抜の時期、方針、方法は適切か	4		4	
志願者状況、定員充足率はどうか	3		3	
中途退学の理由・実状を適切に把握しているか	4	中途退学者の理由や実状について把握した内容をもとに、今後の様々な事前指導にも反映させていく。	4	

#### 4. 教職員組織

評価項目	自己評価	改善のための方策	関係者評価	学校関係者評価委員の意見
専任教員は設置基準を満たしているか	3	授業以外の教育活動に充てる時間確保を考えると、教科担当時間数についてはより負担を軽減したい現状。非常勤講師の採用を増やすなどして、日常から専任教員が担当する負担を軽減することで他の教育活動に充てる時間確保を目指す。	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の簡潔化を検討する必要がある。業務内容が多岐にわたりすぎているようにも思える。</li> </ul>
専任教員1人あたりの担当科目時間数は適切か	3		3	
教職員の業務分掌は明確になっているか	3		3	
教職員の能力、業務内容の評価を定期的に行っているか	3		3	
教職員の資質向上のためのシステムは適切に構築されているか	3	業務形態を見直し、教員の人数に依存しない運営体制や施設環境に取り組むが、今後も継続的に考えていく必要がある。	3	
職員は業務が滞りなく遂行できる人数を雇用しているか	2		2	

## 5. 施設・設備等

評価項目	自己評価	改善のための方策	関係者評価	学校関係者評価委員の意見
教室は学習を行うのに十分な面積を有しているか	4		4	・とくになし
実習室は実習を行うのに十分な面積を有しているか	4		4	
実習設備は整備されているか	3	パソコン経年により使用するアプリケーションによっては、処理に時間を要するものがあつた。 2026年度より、Adobe ソフトを使用するパソコンを新規導入。	3	
教室・実習室の管理は適切に行われているか	3		3	
生徒が自学自習できる教室を有しているか	3		3	
保健室は適切に整備されているか	3		3	
教育用機器備品は整備されており活用されているか	3	教育設備の活用方法が少しずつ固定化されてしまい、より幅広い可能性を考える必要性を感じる。タブレットや電子黒板を使用し、より生徒の興味関心を惹く活用方法について、今後も研究していくことが肝要。	3	
職員室の管理は適切に行われているか	3		3	
事務室の管理は適切に行われているか	3		3	

## 6. 生徒生活支援

評価項目	自己評価	改善のための方策	関係者評価	学校関係者評価委員の意見
生徒と相談する体制が整備・機能しているか	3		3	
各学校行事について、適切な事後反省を行っているか	3	行事の規模により事後反省の実施状況が異なる。より小規模の行事についても反省と改善を実行できる体系をつくりたい。事後反省の要所を絞り、小規模な行事後にも定期的に評価や反省ができる体系をつくる。	3	
防犯・防災訓練の実施等、不法侵入・災害に対する整備は万全か	3	防災品について、経年劣化から新たな物を準備する必要があるヘルメットや拡声器などを新調する	3	
進路活動に関する支援が整備され、機能しているか	3		3	

## 7. 管理・運営

評価項目	自己評価	改善のための方策	関係者評価	学校関係者評価委員の意見
消防計画、学校安全計画等は適切に整備されているか	4		4	
個人情報保護法を遵守しているか	4		4	
セクシャルハラスメントに対する防止・対応策が整備されているか	4		4	

以上、本校の教育研究活動等の学校関係者委員会の意見として報告します。